

Y・A BOOKS



～ 今年度入った本の中から 2 ～

No.33 (2018.3)



◆嘘の木

わたしは悪い例になりたいの

フランシス・ハーディング／著 児玉敦子／訳 東京創元社 2017.10 テコ933.7-ハテ 1111435593
進化論の衝撃に揺れるヴィクトリア朝のイギリス。化石捏造疑惑の渦中で死んだ博物学者の牧師と、嘘を養分として育つという木の謎。14歳の少女フェイスは、父の死の真相を探ろうとするが…。女性が抑圧されていた時代のファンタジーとしても、ミステリーとしても楽しめるお話です。コスタ賞の大賞と児童文学部門賞をダブル受賞！

◆さよなら、田中さん

もし死にたいくらい悲しいことがあったら、とりあえずメシを食え

鈴木るりか／著 小学館 2017.10 テコ913.6-ス 1111432911
主人公の田中花実は小学6年生の母思いの聡明な女の子。工事現場で働く母は明るく豪快で、貧しい母子家庭だけど、2人はとてもたくましく生活しています。裕福な友達との関係などのリアルな描写とそれを包むユーモアに、クスリと笑ってホロリと泣ける連作短編集です。「12歳の文学賞」で3年連続大賞を受賞した中学生のデビュー作！



◆質問する、問い返す 主体的に学ぶということ (岩波ジュニア新書)

自分で考えるために

名古屋隆彦／著 岩波書店 2017.5 テコJ002-ナコ 1111377640
「自分の頭で考えなさい、主体的に行動しなさい」と言われることはありませんか。でも、そもそも「考える」ってどういうこと？どうすれば主体性が身につくの？何のために学ぶのか、『人生を豊かにする学び方』(汐見稔幸／著)や『なぜと問うのはなぜだろう』(吉田夏彦／著)(共に、ちくまプリマー新書 2017.10～11)も併せて読んでみてください。



◆南風^[みなみ]吹く

五・七・五のバトル

森谷明子／著 光文社 2017.7 テコ7913.6-モリ 1111401263
愛媛の離島の廃校予定の県立高校の分校。3年生の航太はひよんなことから日向子と共に俳句甲子園出場のためのメンバー探しに奔走することになって…。進路の悩みや家族との葛藤、過疎化が進む島の未来…。個性も俳句歴もバラバラな5人が力を合わせて成長していく物語。俳句の楽しさにも触れられます。『春や春』の姉妹編。

◆一〇五度

それは特別な角度

佐藤まどか／著 あすなろ書房 2017.10 テコJ913-サト 1111440092
椅子のデザイナーを目指す中学3年の真は、転校先で出会った椅子のモデラーになりたい梨々と組んで「全国学生チェアデザインコンペ」に挑戦することにしたのだが…。お互いが軽く寄りかかる人間関係の心地良さと椅子の背の角度の関係とは？モノづくりの楽しさとともに、好きなことを仕事にすることへのシビアな現実も描いています。



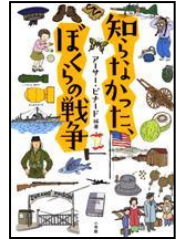
◆ジャパ・トリップ

お互いのこと、もっと知りたくなる

岩城けい／著 KADOKAWA 2017.8 テコ913.6-イワ 1111407258
夏休みにオーストラリアから姉妹校のある日本へやってきた9人の子どもたちと引率の教師、そしてホームステイを受け入れる日本の家族のお話。秘密の目的を持ってきた子、一生懸命日本語を勉強してきたのに英会話の練習マシンとして扱われてしまった子など、異文化交流の経験を通して成長していく様子がイキイキと描かれています。

◆知らなかった、ぼくらの戦争

平和とは優雅な無知である



アーサー・ピナード/編著 小学館 2017.4 テコ 210.75-七ナ 1111434086

アメリカ出身の詩人が戦争体験者の話を聞いたラジオ番組から、23人の体験談を採録。それを編著者は「戦後づくり」の知恵を教わったと振り返ります。真珠湾攻撃や原爆投下のアメリカでの定説への疑問や、「玉砕」、「外地」、戦艦等の名前やアメリカにはない「戦後」など、詩人らしく言葉に着目した考察にもハッとさせられます。

◆雑草はなぜそこに生えているのか 弱さからの戦略

踏まれたら、立ち上がらない



(ちくまプリマー新書) 稲垣栄洋/著 筑摩書房 2018.1 テコ 471-イナ 1111469644

雑草の定義とは何か? 「邪魔者」ではなく「いまだその価値を見出されていない植物」なのかもしれない。粘り強くてしぶとい根性論のイメージのある雑草だが、実は弱くて、それゆえにしたたかな戦略で生き残りをかけている。雑草かどうかを決めるのは私たちの心であり、大切なことを見失わない生き方が本当の「雑草魂」だと著者は訴えます。

◆ウィッシュガール

ぼくって人間を見てほしいんだ



ニッキー・ロフティン/著 代田亜香子/訳 金原瑞人/選 筑摩書房 2017.11 テコ 104-ヨシ 1111443488

学校でいじめにあい、家族にも理解してもらえないでいたピーターは、ふと迷い込んだ不思議な谷でウィッシュガールと名のる奇妙な赤毛の少女・アニーと出会って…。物語に出てくるメイク・ア・ウィッシュは日本にもあり、『メイク・ア・ウィッシュ 夢の実現が人生を変えた』(大野寿子/著 KADOKAWA 2017.9)等で活動を知ることができます。

◆キツネのボックス 愛をさがして テコ J933-ヘニ 1111481587

「而二不二[ににふに]」の関係



サラ・ペニーパッカー/作 ジョン・クラッセン/絵 佐藤見果夢/訳 評論社 2018.1

母を亡くしたピーター少年は、死にかけていた子ギツネを助けて以来、ボックスと名づけてずっと一緒に生きてきたけれど、戦争による疎開で別れなければならないことに。泣く泣く森に置き去りにしたものの後悔し、家出してボックスを探す旅に出たのだが…。野性に戻っていくボックスの視点も交互に描かれ、再会と別れが胸を打ちます。

◆凍てつく海のもこうに

罪悪感、運命は、恥は、恐怖は…、狩人だ



ルータ・セペティス/作 野沢佳織/訳 岩波書店 2017.10 テコ J933-セヘ 1111440038

第二次世界大戦末期、ナチス・ドイツはソ連軍の侵攻が迫る東プロイセンから、バルト海を経由して住民を避難させるハンニバル作戦を敢行したが…。その中で撃沈されたヴィルヘルム・グストロフ号の悲劇を、それぞれに秘密を抱えた4人の若者の語りでも描いた歴史小説です。カーネギー賞を受賞。原著『Salt to the sea』も所蔵有り。

<比べてみよう!>

今年「明治」改元から150年。そしてあと1年程で「平成」が終わろうとしています。平成生まれの皆さんにとっても感慨深いものがあるのではないでしょうか。まだ身近に残る「昭和」と「平成」など、色々なものを比べてみませんか?

★「目でみる」シリーズより「くらべる」本 (おかべたかし/文 山出高士/写真 東京書籍)

2つのものを見開きで掲載し、それぞれの違いや特徴を解説するシリーズです。写真で一目瞭然!



・『くらべる東西』(2016.6 テコ 361.42-オカ 1111313877)

桜餅の形態やうなぎを背中から開くか腹から開くか…など、関東と関西で違ってくるものは多々ありますが、そうした東西の文化・風俗の違いを紹介。東西の境目となることも多い愛知県は、それぞれどちらの側にあるでしょうか?

・『くらべる時代 昭和と平成』(2017.3 テコ 210.76-オカ 1111344210)

固まっているかトロトロかの違いがあるオムライスなど、身近なものが「昭和」と「平成」でどのように変わったのかを紹介。

・『くらべる値段』(2017.8 テコ 675.1-オカ 1111407810)

一見同じモノなのに値段が全然違うのはなぜ? 5,000円の盆栽と500,000円の盆栽のように、同じ品目でありながら値段が異なる2品を比較し、その違いがどこにあるかを解説。



・『くらべる世界』(2018.3 テコ 361.5-オカ 近日配架予定)

イギリス式とアメリカ式でストライプの向きが違うネクタイ、日本の2段式に対して欧米の雪だるまは3段式…等々、日本と外国、外国と外国といった2カ国間での文化、食、日常、風景などの違いを比較して解説。